

般質問



せいじよしのり
関根慶則議員
が町に問う！

パトリア 答弁 令和6年中に方向性を示します

福祉施設機能の再構築は

Q 教育と福祉の両面で生かす観点から、屋内プールを改修し活用しては。
A 長生き支援課長 プールは老朽化に伴い修繕費が増大し、安全かつ安定的な運営が懸念されるところから、改修することは難しいと考えています。

Q 災害時や平時の利便性のためには、シャワールームの設備を。

A 長生き支援課長 今後の方向性の中で併せて検討してきます。

Q 「健康づくりと介護予防に取り組める施設」と決めてはや6年。福祉施設機能の再構築は。

A 長生き支援課長ほか 他の公社施設と併せて設備の更新費などを考慮しながら、令和6年内に今後の方針性を示します。

Q 環状1号線完成は

古屋線まで延伸の計画は。

A 都市政策課長 腰越地内の県道熊谷小川秩父線との交差点部分までについては、令和7年度中の完成を目指しています。延伸については、現在東松山県土整備事務所にて検討中です。

Q 環状1号線完成の時期と旧根

の屋根等が壊れても直せる資金力があるか・事業終了後のパネルの処分や土地の原状回復について等、条例に基づき事業者と協議・指導します。また、事業者が変わる際には、町も周知したり、説明会に出たりして関わっていきます。

Q 適正な設置及び管理等に関する条例施行から2年半、有用性は。

A 環境農林課長 災害時に近隣の屋根等が壊れても直せる資金力があるか・事業終了後のパネルの処分や土地の原状回復について等、条例に基づき事業者と協議・指導します。また、事業者が変わる際には、町も周知したり、説明会に出たりして関わっていきます。

Q クーリングシェルターや快適な避難所、町民のホールなどに活用するため、空調の修理を。

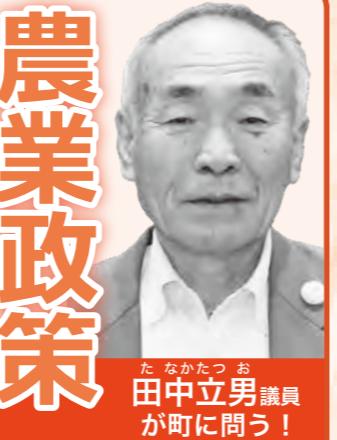
A 長生き支援課長 施設の目的や機能を考えるとともに、町全体の施設の在り方・状況等を含めて検討します。



すずきひでなお
鈴木秀尚議員
が町に問う！

太陽光発電 答弁 条例に基づき協議・指導します

管理に係る条例の有用性は



たなかつお
田中立男議員
が町に問う！

農業政策 答弁 令和2年時点で農業従事者等の推移は

52・1%減少しています

Q 農業従事者の高齢化が課題となる中で、当町の農家数の推移は。

A 環境農林課長 農林業センサスにおける主副業別農家数は、令和2年の調査において主業26戸・準主業21戸・副業的213戸で計260戸となっています。20年前（平成12年）の農家数543と比べ52・1%減少しています。

Q 町として農業従事者への取組等は。

A 環境農林課長 「おがわ型農業」に取り組む生産者等への支援として、トラクターなどの農耕機械や生産施設の整備に係る経費に補助をしています。

Q 「人口減少」に対する取組等は。また「人口戦略会議」から示

された「消滅可能性自治体」への見解は。

A 政策推進課長 令和2年に第2期総合戦略を策定し、様々な施策を展開してきた結果、令和5年は「社会増」の状況となりました。消滅可能性自治体は、将来推計人口等の結果として受け止め、今後も持続可能なまちづくりに有効な施策を確実に進めています。

Q 町として農業従事者への取組等は。

A 環境農林課長 「おがわ型農業」に取り組む生産者等への支援として、トラクターなどの農耕機械や生産施設の整備に係る経費に補助をしています。

Q 「人口減少」に対する取組等は。また「人口戦略会議」から示

Q 「人口減少」に対する取組等は。また「人口戦略会議」から示

A 環境農林課長 「おがわ型農業」に取り組む生産者等への支援として、トラクターなどの農耕機械や生産施設の整備に係る経費に補助をしています。

Q 消滅可能性自治体

「猛暑の夏」刈り取り間近の稲穂

町内の横断歩道の一つ。細心の注意を！



しまざきたかお
島崎隆夫議員
が町に問う！

交通安全 答弁 启発と学びの場の充実を

特色ある活動をしています

Q 町・警察署の役割として、啓発や教育に係る連携など現状は。

A 防災地域支援課長 交通安全啓発グッズの街頭配布・交差点での立哨指導・青色回転パトロール車での広報・小学校での交通安全教室など、各交通安全団体が特色ある活動を実施しています。

Q 幼少期からの学びが重要と考えるが現状は。

A 学校教育課長 新入学児への安全教室、2年生から6年生の登下校時の自転車指導・中学校での自転車点検と安全な乗り方指導を行っています。

Q 和紙について考える日と同時に、町の未来を話し合う機会にしたいが。

A 小川和紙の日「11月27日」

和紙について考える日と同時に、町の未来を話し合う機会にしたいが。

单なる説明ではありません。応援や問題提起など「魂」を込めてお伝えします。

次ページは「16人の一步」

おがわぎかれいNo.113 令和6年9月定例会

タスキを渡す駅伝です。苦しくても必ずゴールが来ると思いながら青空の中を走りました。（Y・Tさん 20歳）

秋が来れば思い出す…遠くに燧ヶ岳、池塘に写る鮮やかな青空と草紅葉。静かな尾瀬ヶ原が大好きです。（F・Mさん 74歳）

幼稚園で行った栗拾い。家で作ってもらった栗ごはんはおいしかった。（A・Hさん 36歳）

感動の一瞬 6年前の9月、カナダで誰かが演出しているような素晴らしいオーラを見ました。（F・Mさん 76歳）

おがわぎかれいNo.113 2024.11.1発行



小川町議会だよりは

キャブション（写真説明）にコダワル！